

あなたのすぐ近くにヒグマがいます！

人の食料やゴミの味を覚えたり、人になれると「危険なクマ」になってしまいます。いつどこに「危険なクマ」がいるのかわかりません。ルールを守って行動しましょう。

これが一番大事

ヒグマと出会わないために



「音」を出す
人の存在をヒグマに知らせる



ヒグマが近くに居ないか
周囲を確認する



匂いが出ないように
食べ物の管理をする



なるべく
複数人で行動する

まずは落ち着く

それでもヒグマに出会ってしまったら



刺激しない



背を向けて走らない



距離を取って引き返す



車から降りない
窓を閉める

絶対に
守ってほしい

ヒグマ生息地での4つのルール



ヒグマとは距離を取る



ゴミは持ち帰る



餌付けをしない



食べ物や荷物を
常に身に着ける

※食べ物やゴミのにおいにはヒグマを引き寄せます。一度人間の食べ物の味を覚えたヒグマは駆除の対象となります。
※ヒグマの観察はクルーズ船がオススメです。

知床のひぐま



<https://brownbear.shiretoko.or.jp/visit/>



ヒグマ規制について

<https://policies.env.go.jp/park/shiretoko/whc-c/higumaki-sei/index.html>

ヒグマを見たら連絡してください



知床財団 0152-24-2775
夜間早朝 090-3778-4308

本当に
ヒグマ
いるんですか？

シレットコ・ヒグマ
マナーブック

ヒグマってこんな生き物！

エゾヒグマ (食肉目 クマ科)
学名: *Ursus arctos yesoensis*

日本では北海道にのみ生息する、国内最大の陸上動物です。
知床では、森や川沿い、海岸近くなどさまざまな環境で暮らしています。
知床半島での生息数は400～500頭程で、その生息密度は世界最高とも言われています。

優れた記憶力
食べ物のことは絶対に忘れない

**犬の数倍
鼻が効く！**
3km先の物を嗅ぎ分けると言われる

月の輪模様が
あるヒグマもいる

冬眠穴を掘るための
ショベルカー
のような前足

木登りも水泳もお手の物
**強靱な肉体の
アスリート！**

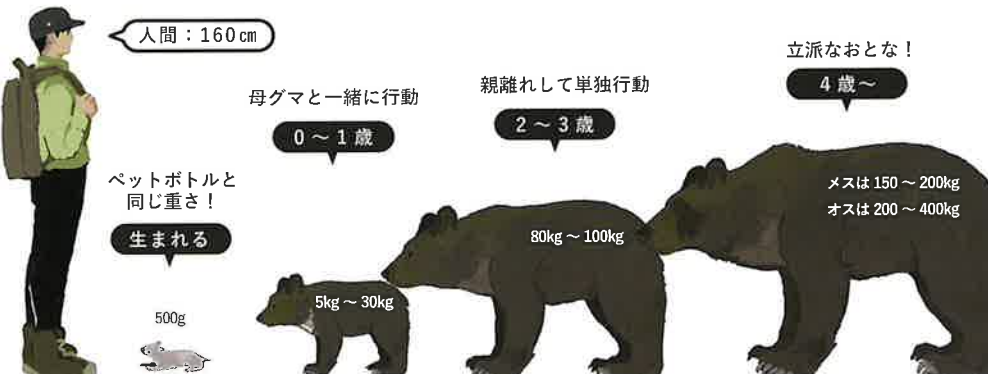
走る速さは
車と同じ
時速60キロ！
走っても絶対に
逃げられない！



※2020年時点の推定生息数

ヒグマの大きさ

ヒグマは人間よりも小さく生まれ、大きく育ちます。



人間: 160cm

母グマと一緒に行動: 0～1歳

親離れして単独行動: 2～3歳

立派なおとな! 4歳～

生まれる: 500g

5kg～30kg

80kg～100kg

メスは150～200kg
オスは200～400kg

ペットボトルと同じ重さ!

ヒグマの痕跡

新しい痕跡はヒグマが近くにいる証拠です。
見つけたらすぐにその場を離れましょう。

糞: 食べたものがほとんど未消化で出てくる。大人の手より大きい



足跡

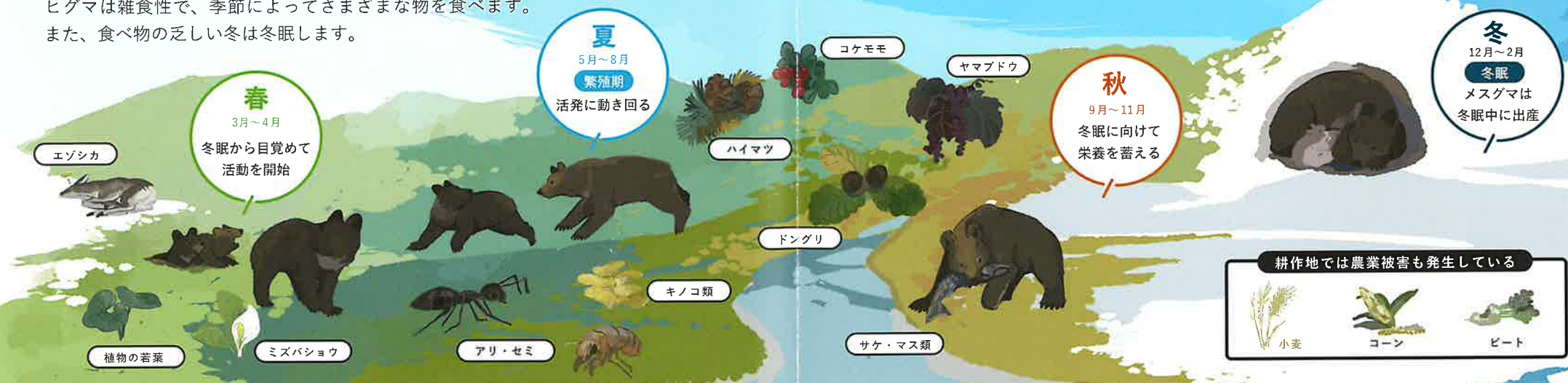


爪痕



ヒグマの一年の暮らしと食べ物 知床の一例

ヒグマは雑食性で、季節によってさまざまな物を食べます。
また、食べ物の乏しい冬は冬眠します。



春
3月～4月
冬眠から目覚めて活動を開始

エゾシカ

植物の若葉

ミズバショウ

アリ・セミ

夏
5月～8月
繁殖期
活発に動き回る

コケモモ

ヤマブドウ

ハイマツ

キノコ類

ドングリ

秋
9月～11月
冬眠に向けて栄養を蓄える

サケ・マス類

冬
12月～2月
冬眠
メスグマは冬眠中に出産

耕作地では農業被害も発生している

小麦

コーン

ビート